

# 令和6年飯田市議会第4回定例会 会派代表質問通告表

令和6年12月4日、5日

| No. | 氏名                            | 項目・要旨   |
|-----|-------------------------------|---|
| 1   | 清水優一郎<br>(新政いいだ)<br>【 120 分 】 | <p>1 「日本一住みたいまち」の実現に向けて</p> <p>(1) 「日本一住みたいまち」実現への歩みはどこまで進んだか</p> <p>① 1期目4年間の市政運営の評価と課題について</p> <p>ア 市のリーダーとしては</p> <p>イ 市役所のトップ(事業主)としては</p> <p>② 「いいだ未来デザイン2028」の進捗状況について</p> <p>ア 未来ビジョンで掲げた8つのまちの姿については</p> <p>イ 人口ビジョンについては</p> <p>ウ 市民満足度については</p> <p>(2) これからの市政運営の基本姿勢について</p> <p>① 2期目の意気込みは</p> <p>② 「いいだ未来デザイン2028」後期計画(案)に込めた思いは</p> <p>(3) 「日本一住みたいまち」実現に向けた具体的な取組について</p> <p>① 住民主体による心かよう地域づくりに関して</p> <p>ア 組合未加入問題、組合加入率の低下、役員のなり手不足等に対する行政としての取組は</p> <p>② 地域防災力の維持、強化について</p> <p>ア 消防団、赤十字奉仕団の団員確保、活動の充実のための取組は</p> <p>③ 地域、ふるさとを守りつなぐ地域農業の振興に関して</p> <p>ア 中山間地域、農業振興地域に田畑とともに生きがいを持ってこれからも暮らし続けられるための施策は</p> <p>④ 三遠南信自動車道の整備効果を地域振興、産業振興に生かすためには</p> |

清水 優一郎  
(新政いいだ)  
【 120 分 】

- ア 道の駅遠山郷の再整備の進捗状況は
  - イ 飯田山本インター産業団地（仮称）の進捗状況は
  - ウ 飯田市全域の地域振興、地域内経済循環に向けて天龍峡パーキングエリアがそのハブ機能を果たすと考えるが、更なる活用の方向性は
- ⑤ リニア駅前広場の一部先行供用開始を見据えた民間投資の促進による地域経済波及効果に関して
- ア 民間事業者を巻き込んだ議論、官民連携（PPP）方式の導入検討は
- ⑥ 環境をテコにした地域産業の活性化、持続可能な地域経済の発展について
- ア 市内の事業者への「環境×経済」の促進をどのように考えているか
  - イ 飯田市のこれからの目指す都市像を「環境文化経済都市」としてはどうか
- ⑦ 保育環境の充実、子育て移住、保育士移住の推進について
- ア 市内で働く民間保育所等職員の待遇改善がそれらに寄与しないか
- ⑧ 学園構想の推進について
- ア 特に児童生徒数の減少が著しい竜東中学校区の各小学校においては、今後、学校生活におけるこどもの豊かな学びと成長の保障に課題があり、保護者からは早急に「施設一体型の小中一貫校」の設立を望む声が上がっている。地域の特色を生かした積極的統廃合に向けて、通学方法といった諸課題の解決策を検討しつつ当事者（児童、生徒、保護者、教職員、地域）の意向に沿ったスピード感でどのように進めていくか
- ⑨ 大学誘致について
- ア 高等教育機関設置に対する現在の考え方は
- ⑩ 飯田のブランディングとシビックプライド醸成について
- ア 来年5月導入予定のご当地ナンバープレート「南信州」を当地域のブランディングにどう活用するか

|          |  |  |
|----------|--|--|
|          | <p>清水優一郎<br/>(新政いいだ)<br/>【 120 分 】</p> | <p>(4) より効果的な政策形成に向けた、政策サイクルの構築について</p> <p>① 「日本一住みたいまち」の実現のためには「地域幸福度 (Well-Being) 指標」と「エビデンスに基づく政策立案 (EBPM)」を政策形成、評価に用いることが有効と考えるがどうか</p>  |
| <p>2</p> | <p>清水 勇<br/>(会派きぼう)<br/>【 120 分 】</p>  | <p>1 2期目の市政運営と来年度の予算編成について</p> <p>(1) 1期4年間の振り返りと2期目に向けての考えは</p> <p>① 1期目は「新・環境文化都市」創造プランを掲げ取り組んできたが成果はどうか</p> <p>② 2期目を迎え「環境文化都市創造プラン～第2章～」を市民の皆さんとともに進めるとあるが、今後の市政運営にどのように取り組むか</p> <p>(2) 来年度予算編成の基本方針は</p> <p>① 予算編成について</p> <p>ア 原油価格、物価高騰等の現状を踏まえ、地域経済の状況や社会情勢の的確な把握と、国・県と連携した施策が必要と考えるがどうか</p> <p>イ 国の防災、減災、国土強靱化の推進において地方自治体にとって有利な起債が活用できるのは令和7年度までと認識している。期限を見据えた公共施設の計画的な整備をどう考えているか</p> <p>ウ 飯田市自治基本条例が施行され17年が経過したが、各地区の環境は大きく変わってきている。飯田市の目指す地域自治の姿をどのように描いていくか、更なる検証をどう進めるか</p> <p>エ 「雨の日などに遊べる親子交流施設」について、こども、若者、子育て当事者との意見交換を進め具体的な事業展開をしてはどうか</p> <p>オ こども家庭庁が推進する「こどもまんなか社会」に応じ、こどもに優しいまちづくりを一層推進し、保護者の不安にも寄り添えるような支援に力を入れるべきと考えるがどうか</p> <p>2 リニア中央新幹線の開業と三遠南信自動車道の開通を見据えたまちづくりについて</p> <p>(1) リニアの開業が遅れるとJR東海から発表があったが、飯田市の今後の状況は</p> |

清水 勇  
(会派きぼう)  
【 120 分 】

- ① 開業延期に伴う今後の飯田市の工事の方向性と施設の活用は
- ② リニアの開業、三遠南信自動車道の開通を見据え、都市部からの移住政策を明確に打ち出し取り組むべきと考えるがどうか
- ③ 三遠南信自動車道の開通を見据え、天龍峡 I C 周辺と令和 7 年秋オープン予定の道の駅遠山郷の活用にとどのように取り組むか
- ④ 国立公園について世界水準のナショナルパーク化が示される中、南アルプス国立公園の受け入れ態勢を検討してはどうか

### 3 環境に配慮したまちづくりについて

- (1) ゼロカーボンシティ宣言に基づいた飯田市の取組の現状は
- (2) ランドスケープデザインの観点から、まちづくりの取組をどのように考えているか
- (3) 南アルプスユネスコエコパーク、南アルプスジオパークの取組と今後の考えは

### 4 活力ある産業振興と地域活性化について

- (1) 地域資源の活用を視野に入れた具体的な取組状況は
- (2) 農業従事者の高齢化、後継者不足の現状を踏まえ、支援の考えは
- (3) 飯田市への移住定住の推進、空き家対策への取組の現状は
- (4) 森林施策の取組の現状と今後の考えは
- (5) 建設業においては人員不足が課題であるが、建設業協会と連携して対応していく考えは

### 5 医療・福祉・介護の取組について

- (1) 介護保険事業における課題と取組は
  - ① 介護人材確保に向けた取組状況は
  - ② 特養入所待機者の現状は
- (2) 飯田市立病院の現状と課題について
  - ① 医師、看護師、看護助手等の医療人材確保の状況は
  - ② 働き方改革関連法施行の影響は

|   |                                       |  |
|---|---------------------------------------|--|
|   | <p>清水 勇<br/>(会派きぼう)<br/>【 120 分 】</p> | <p>③ 2年続けて赤字決算であるが今後の経営の考え方は</p> <p>6 教育の充実と人づくりの拠点施設について</p> <p>(1) 飯田市これからの学校のあり方審議会の取組と今後の進め方は</p> <p>(2) こどもたちが飯田市・地域に愛着を持てるような取組を地域と一体になって進めるべきと考えるがどうか</p> <p>① 地域で取り組むこと、学校で取り組むことを具体的に検討すべきと考えるがどうか</p> <p>(3) 不登校児童の現状と今後の取組は</p> <p>(4) 新文化会館整備に向けた取組の現状と今後の進め方は</p> <p>(5) 小中学校の学習用端末の更新が令和7年度から本格化していくと思うが、教育委員会の考えは</p> <p>7 安全・安心なまちづくりについて</p> <p>(1) 近年、自然災害が頻発・激甚化しているが、能登半島の支援に行った職員の報告を生かした安全・安心なまちづくりをどう考えるか</p> <p>(2) 道路復旧事業や改良工事が長期化しているが、被災直後の応急対応から完全復旧まで、国、県と連携して、一刻も早く復旧ができるよう取り組むべきと考えるがどうか</p> <p>(3) 災害対応時の指定避難施設充実のため、施設整備、太陽光発電の活用、施設の冷暖房の研究を進め、取り組むべきと考えるがどうか</p> |
| 3 | <p>井 坪 隆<br/>(会派みらい)<br/>【 90 分 】</p> | <p>1 市長2期目の市政運営、市政経営について</p> <p>(1) 2期目の「公約」の実現のために、何を柱に据えるか</p> <p>(2) 環境を軸とした産業活性化をどのように展開するか</p> <p>(3) 「健全な財政」はどのようにして運営していく方針か</p> <p>2 リニア長野県駅（仮称）の工期延長に伴う、駅設置自治体としての今後の対応について</p> <p>(1) 2031年末とする長野県駅（仮称）の工期の厳守を、JR東海に対して求めるべきではないか</p> <p>(2) 中間駅を軸とした政府方針の「多極分散型」のビジョンを、どのように具現化していくか</p> <p>3 住民自治の将来について</p>   |

|   |  |  |
|---|--|--|
|   | <p>井 坪 隆<br/>(会派みらい)<br/>【 90 分 】</p>  | <p>(1) 飯田市自治基本条例の理念を尊重した地域づくりの「学び」の機会を、どのように生かしていくか</p> <p>(2) まちづくりにおける公民館を中心に、地域自治組織の在り方の再検証が必要ではないか</p> <p>4 女性も活躍する社会について</p> <p>(1) 男女格差についての地域社会の現状をどう捉えているか</p> <p>(2) 女性からも「生きる場」として選ばれる飯田市を、どのようにして創っていこうと考えるか</p>  |
| 4 | <p>小 林 真 一<br/>(公明党)<br/>【 120 分 】</p> | <p>1 市政、財政運営と来年度予算編成について</p> <p>(1) 市長として1期4年の総括と2期目へ向け、いいだ未来デザイン2028後期計画案へ市長の思いはどの程度込められたか</p> <p>(2) 後期計画案については戦略バスケットの考え方がより強まったが、組み立ての考え方、思いは</p> <p>(3) SDGsの理念を後期4年で改めて整理してきたと理解するが、後期計画案での特徴は何か</p> <p>(4) デジタルトランスフォーメーション(DX)をどのように後期計画案へ盛り込んだか</p> <p>(5) 令和7年度予算編成の基本方針にある「多様な主体との協働」はどのような事を具体的に考えているか。また、議会に求めるものは何か</p> <p>(6) 行財政改革について事務・事業の見直しや廃止の考え方は</p> <p>(7) 人事と組織機構について</p> <p>① 定年延長制が導入された中で、職員の配置をどう考えるか</p> <p>② こども未来健康部について市民の反応は</p> <p>2 地域に「誇り」と「愛着」が欠かすことのできないものとするために</p> <p>(1) 飯田市自治基本条例の学び直しの市長の評価は。また、市民の意識はどう変わったと考えるか</p> <p>(2) 「ゆるやかなつながり」の具体的な実践や取組はあるか</p> <p>3 安全・安心なまちづくりと、より防災意識を高め、災害に備えるために</p> |

小林 真一  
(公明党)  
【 120 分 】

- (1) 今年度から取り組んでいる地域ごとの防災アセスメント調査の状況は
  - (2) 住宅の耐震化について施策の充実とある。一番の課題であるが住宅への支援をどの程度まで考えているか
  - (3) 能登半島地震の教訓からトイレトレーラー導入の考えは
  - (4) ゾーン30プラスについて拡大の考えは
  - (5) 管理不全な空き家への対応は
- 4 これまでの産業と、環境を軸とした新しい産業について
- (1) 第一次産業はこれまでどのような支援を行い、活性化につなげてきたか。また、今後をどう考えるか
  - (2) 「企業が行う奨学金助成の際の金融支援」についての考え方は
  - (3) 地域ポイントの取組について、ボランティアポイントなど所管外との連携は視野に入ってきたか
  - (4) 水素を活用する社会の実現に向けた計画や推進体制を検討するとある。具体的なビジョンは
- 5 リニア・三遠南信道時代へ向けて飯田市の強みを大きく飛躍させるには
- (1) リニア駅前広場については開業を待たずに一部供用開始し賑わいをつくるとしているが、具体的な考えは
  - (2) リニア駅前広場整備における3つのプロジェクトについて、開業が延びたことへの課題は
  - (3) 二次交通についての実証実験を行ってきたが、方向性は見えてきたか
  - (4) サステナブルツーリズムについて今後の具体的な取組は
  - (5) インバウンドの現状は
- 6 誰もが尊重され尊重し合える飯田市にしていくために
- (1) ジェンダーギャップ解消へ向けた今後の具体的な取組は
  - (2) 「ムトスぷらざ」の創発の場としての具体的な取組や実例は。また、多文化共生との視点から駅前の有利性は発揮されているか
  - (3) 「福祉まるごと相談窓口」の現状は

|   |                             |  |
|---|-----------------------------|--|
| 5 | 古川 仁<br>(日本共産党)<br>【 70 分 】 | <p>1 令和7年度予算編成の基本的な考え方に関して</p> <p>(1) 「市民が将来にわたり地域に誇りと愛着を持てるまちをつくる」について</p> <p>① 市民自身が地域の自慢・誇りを再認識できる取組を実施とあるが、どのように進めるか。また、具体策としてまずは市民が各地区の自然や文化・歴史を巡る事業をしてはどうか</p> <p>(2) 「人がつながり助け合い、社会基盤を強化して安全・安心なまちをつくる」について</p> <p>① 「自分自身や家族を守る意識の向上」や「助け合いによる地域防災力の強化」など自助・共助が強調されているが、まちづくり委員会等の理解と協力が必要と考える。組合加入率が低下している中、どう進めるか</p> <p>② 安全・安心な暮らしを支える社会基盤の強靱化として、緊急時における個人所有の井戸の使用について協力依頼を市が進める考えは</p> <p>(3) 「飯田（ここ）で育ってよかった・育ててよかったと実感できるまちをつくる」について</p> <p>① 「育ててよかった」となるには、更なる子育て施策が必要と考えるが、こども・障がい者の医療費受給者負担金の完全無料化や小・中学校の給食費無償化等を進めている自治体に学び、実現策を考えてはどうか</p> <p>(4) 「誰もが多様な働き方で活躍でき、次世代につながる魅力ある産業をつくる」について</p> <p>① 第一次産業である農林業の課題が山積しているが、市として生産者の現状把握や支援等をどう進めるか</p> <p>② 中小企業を守るためにもインボイス制度の中止と消費税5%への引き下げを市として国に求めてはどうか</p> <p>(5) 「誰もが生涯を通じてその人らしく暮らすまちをつくる」について</p> <p>① 「地域医療への支援」と「介護人材確保に向けた支援」に関して、根本的な問題として医療・福祉・介護における人材確保は喫緊の課題だが、確保に向けた市の考えは</p> <p>(6) 「リニア・三遠南信時代に向けたまちの基盤をつくる」について</p> |
|---|-----------------------------|--|

古 川 仁  
(日本共産党)  
【 70 分 】

- ① リニア中央新幹線計画・工事に関して要対策土等市民の皆さんが不安に感じているところがある。JR東海に対し一旦立ち止まり、リニア中央新幹線計画・工事の見直しを求めているかどうか